



伊予市長
中村 佑

新年あけましておめでとうございま
す。市民の皆様には、輝かしい新年を健
やかに迎えることと心からお慶び申
し上げます。また、日ごろは市政の推進
に多大なご理解とご協力を賜り、厚く
お礼申し上げます。

新生「伊予市」の市政をお預りして早
や3回目の新年を迎えました。昨年は、
集中改革プラン等に基づきまして、行
財政改革を積極的に推進し、地方分権
の荒波を乗り越える体制作りに励んで
まいりましたが、いよいよ今年は、伊予
市総合計画に基づき、本格的に主要施
策を実行に移していく躍動の年となり
ます。しかしながら、三位一体改革に伴

う国庫負担金の廃止・縮減、地方交付税
の見直しなどの影響により、本市にと
りましても財政状況は依然厳しいもの
となっておりま。さらに、少子高齢化
過疎化といった社会的課題や、市民二
丁の多様化、複雑化、高度化などが進展
する現状にあつて、従来どおりの行政
分野をすべて行政で対応していくこと
は、非常に難しくなっております。

今後は、行財政改革の一層の推進及
び行政と市民・団体等が、適正な役割分
担のもと、力を合わせて新しい公共の
創造に努める参画と協働によるまちづ
くりが必要不可欠であります。このよ
うな状況にあつて、現在、本当の意味で

自立し、行政と対等の立場で協力し合
うことのできる地域づくり、いわゆる住
民自治組織の結成を支援していること
ろであります。これからも市民の皆様
の知恵と力をお借りしながら、課題の
一つひとつを着実に解決し、新市の将来
像である「ひと・まち・自然が会う郷く
に」の実現に向けて努力してまいりた
いと考えておりますので、皆様の更なる
ご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、平成20年が、皆様にとりまし
て幸多い年になることを祈念いたしま
して、新年にあたつてのごあいさつとい
たします。

平成20年年頭のごあいさつ



伊予市議会議員
高橋 佑弘

新年明けましておめでとうございま
す。

市民の皆様方には、すがすがしい新
春を健やかに迎えることと心からお
慶び申し上げます。旧年中は、本市議
会に対して格別のご理解とご協力を賜
り、厚くお礼を申し上げます。

さて、新市発足以来、市民・行政・議
会、それぞれが協働し、この機を新た
な地域の創造ととらえ、自らの力で地
域をつくるという地域力の醸成を図り、
地方の時代にふさわしいまちづくり
に取り組んでいるところであります。

しかしながら、少子高齢社会が現実
のものとなった我が国では、社会保障

制度や都市と地方の地域格差への対応
等、社会、経済構造を抜本的に改革す
べき緊急課題が山積しており、国の将
来を考えるうえで重要な時を迎えてお
ります。

このように、本市を取り巻く環境が
大きく変化している中、「将来にわたつ
て市民の皆様が安心して暮らすこと
のできる、魅力と活力にあふれたまちづ
くり」を推進していくためには、行財
政基盤の確立と行政体制の整備が求め
られております。

議会の果たすべき役割がますます重
要なものとなっている今、本市議会では、
議会改革特別委員会を設置し、議会運

営全般にわたつて見直しを行っており、
市民本位の行政・議会機能を適切に果
たしていくため、議会の活性化に向け
た取り組みを強化しているところであ
ります。

どうか今後とも、伊予市発展のため
一層のご支援、ご協力を賜りますよう
お願い申し上げますとともに、皆様方
にとつてより良い一年となりますよう
ご祈念申し上げます、新年のごあいさつと
いたします。